



# 「夢実現」～可能性は無限～

大矢野中  
学校だより

令和7年度 第22号 令和7年12月1日（月） 文責 校長 松田 真也

3年生は、三者面談を行い、進路の方向（受検校等）が決ま  
っていく時期となりました。早い生徒は、出願や受検に入った  
生徒もあり、進路の手続きも続々と進んでいます。生徒会も代  
替わりです。早いもので、いよいよ「12月・師走（しわす）」  
となり、今年も残すところ1月となりました。インフルエンザ  
が流行っています。手洗い・うがい・マスク着用を心がけ、予  
防しましょう。11月下旬の大矢野中の様子をご紹介します。



6ヶ月育てやっと花が  
咲いた「グロキシニア」

## 11/28 「いきいき芸術体験」～プロの演奏に魅了されました～

「生の音楽や演劇に接することによって、生徒の豊かな創造性や情操を養う」ことを目的とし  
て行われている「いきいき芸術体験」が、本校で行われました。今回、本校で公演を行ってくだ  
さったのは「九州打楽器合奏団」の皆さんです。代表の花岡さんをはじめとする4人のプロの演  
奏家がお越しくださいました。ドラム、マリンバ、木琴、鉄琴（ブロッケン）をはじめ、たくさ  
んの打楽器を使った音楽やパ  
フォーマンスを披露してくださ  
いました。4本のバチを使った巧  
みな演奏や、4人で奏でるテン  
ポのいいリズム、美しいハーモ  
ニーなど、さすがプロという演  
奏に、生徒は引き込まれて  
いました。また、生徒も  
参加して演奏するコーナ  
ーでは、笑顔が溢れまし  
た。楽しく貴重な時間を  
全校で過ごしました。



九州打楽器合奏団の4人の皆様



生徒参加のコーナーで楽しく演奏する様子

## 11/23 吹奏楽部&かみあま吹奏楽団が「さんばーる」で演奏

道の駅「さんばーる」の25周年イベントで、本校の吹奏楽部が「かみあま吹奏楽団」の皆  
さんと一緒に演奏を行いました。当日は、観光客や地元の買い物客で賑わっており、たくさんの  
人々の前で、演奏を披露しました。「アンパンマンマーチ」から、「故郷」、ミセスグリーンアッ  
プル「ケセラセラ」、そして「天草小唄」まで、幅広い年代に聞いてもらえるジャンルの曲を演  
奏しました。部長の竹下心徠（みらい）さんは、「部員も少なくイベントに出られるか心配して  
いましたが、かみあま吹奏楽団のみなさんと一緒に出られてとてもうれしかったです。練習から、  
たくさんカバーしていただいて、本番はみんなで楽しく演奏できました。」と話してくれました。



「さんばーる」で演奏する吹奏楽部とかみあま吹奏楽団



## 11/27「生徒会選挙・立会演説会」～次の大中を担う誓いを～

いよいよ生徒会も入れ替わりの時期となり、次の生徒会執行部を決める「**生徒会選挙**」が行われました。今回は、会長候補2名、副会長男子に1名、副会長女子に2名、書記男子に3名、書記女子に2名が立候補し、朝のあいさつ運動や昼のアピール放送などを行ってきました。

最後の「**立会演説会**」では、全校生徒の前で、愛と笑顔溢れる学校、個性を発揮できる学校、地域に愛される学校、凡事徹底できる学校など**目指す学校像**を、そして、行事に新しい種目を入れる、学年を超えた交流をする、タブレットで生徒の意見を集めるなど、**具体的な取組のアイデア**を発表しました。どの立候補者も、学校のために役立ちたいと、勇気を持って立候補し、何ができるか、何をすべきか考え、応援責任者とともに、堂々と発表してくれました。

立ち会い演説の後に、教室で、全校生徒による「**投票**」が行われました。選挙の結果、選ばれた新生徒会執行部につきましては、改めてお知らせします。



選挙期間中の朝のあいさつ運動の様子



熱のこもった演説が行われた立会演説会の様子

### 【トピック】

山並来蓮生徒会長らの現生徒会執行部は、最後の取組となるかもしれない活動として、「**お昼寝タイム**」の企画を実施しました。昼休みにお昼寝の時間を取り、午後の授業に集中できるようにするというものです。副会長の森田紗矢さんの1年前の選挙で述べたアイデア（公約）でもあったものを、実行に移しました。行事等と重なってしまい、希望者のみの参加でしたので、実施した生徒は少なかったのですが、アイデアを凝らし、少しでも学校生活を楽しみやすくするために、取り組んでくれた生徒会のメンバーにお礼を言いたいです。次の生徒会の皆さんにも、そんな企画や取組を期待します。

## 11/20 認知症サポーター養成講座 ～みんなで支える～

社会福祉協議会の主催で、2年生の「**認知症サポーター養成講座**」が行われました。社会福祉協議会の青山さんの進行で、認知症について学びました。まず、ボランティアスタッフの坂田さんと池田さんが、迫真の演技で認知症のお年寄りとその家族を演じられ、その後、認知症のお年寄りの気持ちや家族の気持ちを考えました。

認知症は、病気や歳を取ったことにより、食べたことを忘れたり、同じ話を繰り返したり、日付や場所が分からなくなったりするものです。家族も大変ですが、本人も辛いものです。

周りが、**①否定しない、②せめない、③せかさない**、の三原則で、ゆっくり話を聞いて安心して過ごせるようにしてあげることが大切です。

自分の家のおじいちゃん、おばあちゃんにも、近所や通りがかりのお年寄りに対しても。

今回、お年寄りの気持ちや対応の仕方を学んだ2年生のみんなは、お年寄りを優しく支える**強い味方（サポーター）**としてこれからの高齢化社会を支え、優しい町づくりに貢献してくれることでしょう。



話し合いの様子を見守る池田さん



(後列左から)渡邊さん、青山さん、東矢さん  
(前列左から)坂田英雄さんと池田サダ子さん